

栃木放送平成22年度第1回4月期定例番組審議会議事録

1 開催の日時 平成22年4月27日(火) 午前11時

2 開催の場所 栃木放送本社会議室

3 委員の出席 委員総数9名
出席委員7名
欠席委員2名

出席委員名	委員長	増田仲夫
	副委員長	原沢佳子
	委員	鈴木正好
	委員	太田照男
	委員	高橋一夫
	委員	田村澄夫
	委員	佐藤正典
局側出席者氏名	代表取締役社長	栗山正道
	常務取締役	山口純一
	報道制作局長	竹澤一夫
	報道制作局次長	高瀬一也

4 議 題

- (1) 新番組『みんなのラヂオ』について
- (2) その他

5 議事内容

- (1) 新番組『みんなのラヂオ』について

放 送：月曜日～木曜日 午後1時15分～午後4時(生放送)

試聴番組：平成22年4月7日(水) 21日(水) 22日(木) 放送分から抜粋

議題説明：報道制作局次長 高瀬一也

栃木放送では、より地域に密着した放送を行うため、4月改編から、午後の番組にサテライト形式をとり入れた「みんなのラヂオ」を放送。月曜日・火曜日は、県央の話題を中心に本社スタジオから放送し、水曜日は県北の話題を中心に那須支社から放送。木曜日は県南の道の駅から放送を始めた。番組には、各地域のゲストパーソナリティが登場するほか、多方面のゲストを迎えて、地域とより深い関わりをもった放送ができる構成にしていることなどの説明をおこなった後、番組を試聴、審議に入った。

各委員からは

- 県北スタジオからの放送に出演している佐藤もと子さんは、玄人はだしで、アナウンサーとのコンビネーションも良い。料理のコーナーは、ラジオなのでピンとこなかった。道の駅からの放送は、ゲストパーソナリティの方が遠慮しているように感じる。どう役割分担をしていくかが課題だ。商店街の中継は、県内の商店街を広くPRしてもらいたい。
- 料理コーナーを担当しているクックマンというのはどういう人物なのか。名前を聞いただけではわからないので、聴いている人にわかるような補足が必要だ。
- 水曜日の県北スタジオにでていた女性はユニークなしゃべりでおもしろい。
- 道の駅からの放送のとき、周囲のノイズが入っているが、ゲストの話のときに気になった。
- ノイズの扱いは重要だ。アナウンサーとゲストの話が重なった時は、うるさい。また、場面の説明がわかりにくい。聴く側に見えるようなおしゃべりが必要だ。もうちょっとすっきりして欲しいが、全体的には明るくて良い。
- すっきりというのは、その通り。説明は説明で、すっきりしたほうが良い。
- 番組の趣旨の心意気が伝わってくるようで良い。県南・県央・県北で競わせるようなコーナーを作ってはどうか。
- 継続することが大切だ。
- 佐藤さん、入り方が方言でいきなりなごめる。とても良い。クックマンは聴いていてどんな人かと想像するが、あわせてホームページに掲載して、そちらをPRすればわかりやすくなる。
- 佐藤もと子さんの方言は良い。クックマンはわかりづらい。各地域の自慢話がでてくるようになるともっと親しみが持てるようになると思う。
- 番組とは外れるが、タイムテーブルの表紙の川柳、季節的に違和感がある。などの意見が交わされました。

当社としては、これらの意見をもとに、今後の番組作りに取り組んでいきたい旨を、各委員に伝えました。

(2) その他

- 22年度第2回5月期の審議会開催日を決めて、閉会。

6 その他の参考事項

当社の番組審議会規定により、22年4月1日付けで9名の番組審議委員が委嘱された(全員が再任)。

議題に入る前に、委員長および副委員長の互選が行われ、委員長に増田仲夫氏、副委員長に原沢佳子氏が選任された。

以上